

SMART
ILLUMI-
NATION
2017

スマートイルミネーション横浜2017

ヨコハマ・イルミネーション・マンス

【参加のご案内】

2017.6

スマートイルミネーション横浜実行委員会

環境技術とアートが融合する国際アートイベント

スマートイルミネーション横浜は、長年にわたって優れた都市景観の形成に取り組んできた横浜都心臨海部を舞台に、新たな夜景の創造を試みる国際アートイベントです。

2011年、東日本大震災を契機として、都市空間における省エネルギー技術活用の重要性が高まるなか、本イベントはスタートしました。アーティストの創造性を活用しながら、環境にやさしい、未来の夜景のあり方を考えることが、本イベントのコンセプトです。

国内外のアーティストが最先端の環境技術を活用して作りあげるアートプログラムのほか、学生や若手アーティストによるスマートイルミネーション・アワード、横浜市内外の企業、団体、大学、施設、そして多様な市民が参加し、もうひとつの横浜夜景を演出します。



1.スマートイルミネーション横浜とは

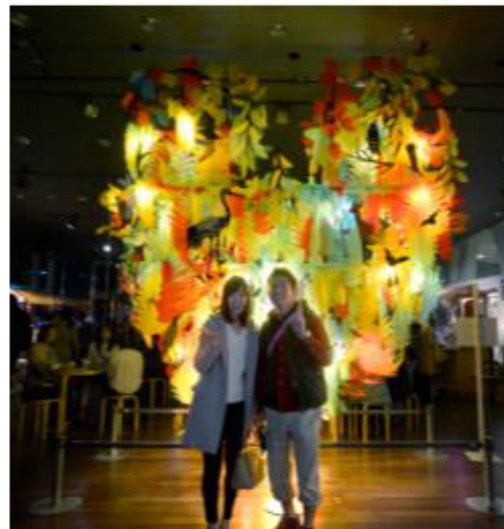
《過去の主な作品 2016》



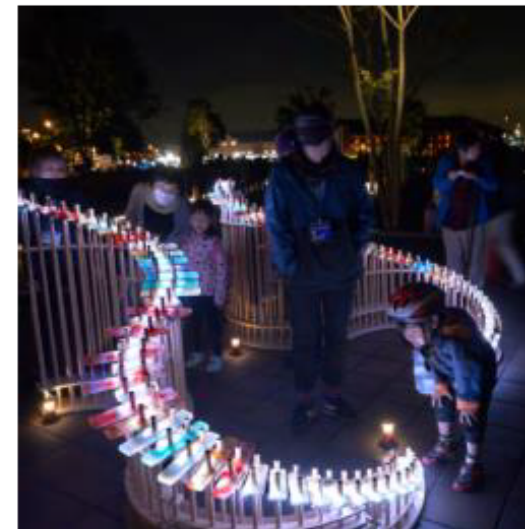
2016年ルー・ヤン (Lu Yang) /power of will ! final shooting ! / 意念力！終極發射！



2016年
松本大輔 + 原田弥「夜の運動会実行委員」/
ポンプDE イルミ vol.2



2016年バルバラ・キャデ (Barbara Cadet)
/HEART



2016年 つちやあゆみ
/光のオトイロ

1.スマートイルミネーション横浜とは

《過去の主な作品 2011-2015》



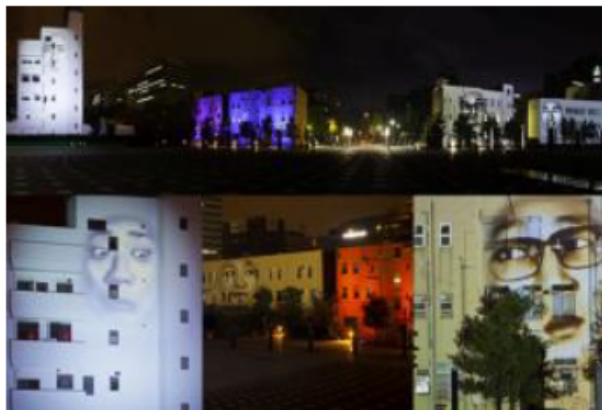
2011年/高橋匡太
WRAPPING THE CITY LIGHTS -
既存都市照明のカラーチェンジ



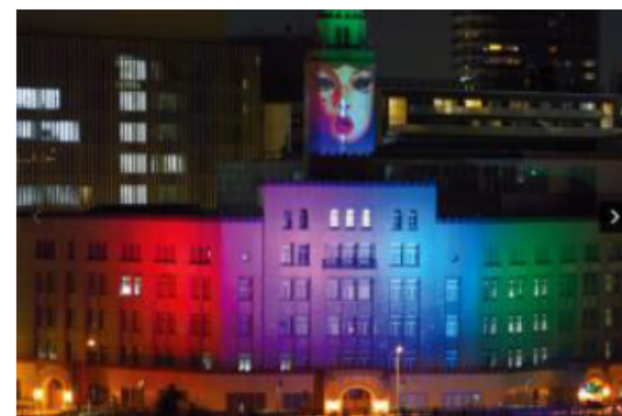
2012年 NVA/ Speed of Light Yokohama 3
movements



2013年 Numen/Net Blow-Up



2014年 高橋匡太+柴幸男/
moving projection theater
「たてもものおしばい」



2015年/高橋匡太
moving projection theater / たてもものおしばい
「塔 (クイーン) は歌う」

1. スマートイルミネーション横浜とは

《これまでの実施結果》

	2011	2012	2013	2014	2015	2016
会期	10/7 (金) ~ 10/9 (日)	10/31 (水) ~ 11/4 (日)	10/23 (水) ~ 10/27 (日)	10/30 (木) ~ 11/3 (月・祝)	10/30 (金) ~ 11/3 (火・祝)	11月2日 (水) ~ 11月6日 (日)
テーマ	もうひとつの横浜夜景	光と影をめぐる夜	みんなで作る横浜夜景	PRIMARY LIGHT 語り合う光	—	環境未来都市・横浜から提案する新たな時代のイルミネーション
参加アーティスト数	9組	23組	12組	18組	14組	17組
来場者数	3万人	19万人	8万人	18万4千人	21万6千人	19万6千人
会場	象の鼻パーク、 山下公園、 元町ショッピングストリート ほか	象の鼻パーク、 日本大通り、 山下公園ほか	象の鼻パーク、 みなとみらい21地区、 山下公園、 横浜駅西口ほか	象の鼻パーク、 パシフィコ横浜、 ヨコハマ・インターコンチネン タルホテルほか	象の鼻パーク、 横浜大さん橋 国際客船ターミナル ほか	象の鼻パーク、 横浜市開港記念会館 ほか

1. スマートイルミネーション横浜とは

《報道クリッピング 2016》

ニュースシブ5時 (NHK) 2016年11月2日



とくダネ! (フジテレビ) 2016年11月3日



媒体総数	
TV	7番組
ラジオ	6番組
新聞	8紙
雑誌	13誌
WEB	191サイト
合計	225媒体

広告換算	
TV	98,012,000円
ラジオ	12,383,000円
新聞	3,226,000円
雑誌	399,000円
WEB	57,300,000円
合計	171,320,000円

広告換算費 約171,320,000円

1. スマートイルミネーション横浜とは

《実行委員会 組織構成》

スマートイルミネーション横浜実行委員会

- 委員長 : 国吉 直行(横浜市立大学特別契約教授)
- 副委員長 : 富士田 学(横浜市文化観光局 文化芸術創造都市推進部長)
- 委員 : 今村 裕一郎(一般社団法人 横浜港振興協会 専務理事)
- 委員 : 岡崎 三奈(公益財団法人 横浜観光コンベンション・ビューロー)
- 委員 : 梶山 祐実(横浜市都市整備局 都市デザイン室長)
- 委員 : 秋元 康幸(横浜市温暖化対策統括本部 環境未来都市推進担当部長)
- 委員 : 斉藤 良展(一般社団法人横浜みなとみらい21専務理事)
- ※6月29日より藤田 格 氏に交替
- 委員 : 北村 宏(関内・関外地区活性化協議会 会長)
- 監事 : 河本 一満(横浜市文化観光局創造都市推進課 創造まちづくり担当課長)

アートディレクション : 岡田 勉 (スパイラル/株式会社ワコールアートセンター)
事務局長 : 森 由香 (ルーデンス株式会社)

世界に誇る、創造的横浜夜景

最先端の省エネ技術とアートを融合し、新たな横浜夜景を提案する「スマートイルミネーション横浜」。
2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催に向け、新市庁舎ほか都心臨海部の再開発が次々と計画されるなか、7回目の開催を向ける本イベントも大きな変化の時を迎えます。

「象の鼻パーク」から「まちなか」へ。
世界のクリエイターがその才能を競い合うイベントへ。
そしてなにより横浜市民とともに作るイベントへ。

長年にわたってすぐれた都市景観の形成に取り組んできた横浜の素地を生かし、創造的でイマジネーション溢れる夜景を世界に発信することを目指します。



スマートイルミネーション横浜2017 実施概要

タイトル：スマートイルミネーション横浜2017
主催：スマートイルミネーション横浜実行委員会
共催：横浜市
※本事業は、平成29年度 文化芸術創造活用プラットフォーム形成事業に採択されています。

展開：[コアフェスティバル] [スマートイルミネーション・アワード]
[ヨコハマ・イルミネーション・マンス]の3つのカテゴリで構成。

1. コアフェスティバル

2017年11月1日（水）～5日（日）（5日間）
象の鼻パーク及び周辺
アートとスマートテクノロジーが融合する国際アートイベント

2. スマートイルミネーション・アワード

2017年11月1日（水）～5日（日）（5日間）
象の鼻パーク
LEDや有機ELなど環境に配慮した照明技術の新たな活用方法と若手アーティストや学生の創造性を融合させた光に関するアワード

3. ヨコハマ・イルミネーション・マンス

2017年11月1日（水）～12月31日（日）（2ヶ月間）
象の鼻パーク及び横浜市内全域
横浜市内の各所で、多彩な主体による世界に誇る夜景を発信。

3.ヨコハマ・イルミネーション・マンス 参加方法

ヨコハマ・イルミネーション・マンスは、「横浜夜景」の集合体です。
参加方法は下記の2種類があります。

A.独自プログラムによる参加

B.ひかりの実プロジェクトによる参加

3.ヨコハマ・イルミネーション・マンス 参加方法

A.独自プログラムによる参加

施設、企業、団体、商店街などの主催者が、既存、新設問わず、独自のイルミネーション、夜景演出、イベントなどを行い、それを「ヨコハマ・イルミネーション・マンス参加プログラム」として共同で広報するものです。

これまでの「連携プログラム」「まちなか展示」などと呼んでいたものも含まれます。

※ご希望によって、スマートイルミネーション横浜実行委員会のアートプログラムとの連携やアーティストのご紹介、制作なども実施可能です。
また、機材を持っている企業等とのマッチングも行います。
(予算等別途ご相談)

《過去事例》



2011 元町ショッピングストリート
《Motomachi Magic Hour》
演出：高橋匡太



2015 一般社団法人横浜みなとみらい21
《スマートライトパレード「GINGA」》
平野治



2015 日本大通り
《Starlight street星明りの街道》
機材実施：JFEエンジニアリング株式会社



2013 ヨコハマ創造都市センター（YCC）
《Aquatic dream 水辺の夢》
中村敬

B.ひかりの実プロジェクトによる参加

アーティスト・高橋匡太(Kyota Takahashi)が描く○に参加者が「笑顔（スマイル）」を描き足して完成させる作品《ひかりの実》。

これまでも施設・団体・自治体によるオリジナルイベントが実施され多くの方々が参加してきました。

今年度は新たな取組として「スマートイルミネーション横浜 ひかりの実プロジェクト 2017（仮）」をスタートします。さまざまな団体に《ひかりの実》のワークショップ・展示を実施していただき、その様子を記録におさめ《ひかりの実》の作品動画を制作します。

詳細は別紙



□ひかりの実とは

作家が「○」をドローイングした果実袋に対して、みなさんがスマイルを書き込みます。みなさんの書いたスマイルの袋にフルーツキャップと手作りLED照明を入れて完成です。樹木やテラスに取付ければみんなの笑顔が実り、幻想的な風景が広がります。

材料：果実袋（アーティストの○入り）、ボタン電池、LED素子、フルーツキャップ、モール



4.ヨコハマ・イルミネーション・マンス 参加メリ ット

《参加条件》

概ね2017年11月1日から12月31日までの期間に、横浜市内（特に横浜都心臨海部）で実施する、イルミネーション、ライトアップ、夜景に関するイベントなどを募集します。

《メリット》

◎スマートイルミネーション横浜2017の広報媒体に情報を掲載

- ・当日パンフレット 10000部（10月下旬発行予定）
- ・事後プロジェクトブック 700部（2月発行予定）
- ・公式ウェブサイトへの掲載
- ・SNSでの情報配信
- ・ニュースリリースへの掲載（9月下旬に横浜市長定例にて発表予定）

◎スマートイルミネーション横浜2017コア・フェスティバル会場でのチラシ配布

◎スマートイルミネーション オープニングセレモニーにご招待（11月1日実施）

◎スマートイルミネーション横浜のコンテンツ、アーティストなどを紹介、提供（費用、内容は個別にご相談）

6月21日（水） 説明会 参加受付
開始

※調整

8月31日（木） 参加受付 締め切り

※具体的な内
容の調整 名称等の
表記の確認

9月下旬～ 記者発表
イ パブリシテ
出 ポスター掲

11月1日～ 会期スタート
ト配布 パンフレッ

6. ご協賛のお願い

マンス参加団体様向けの特別協賛枠を設定いたしました。
前述の参加メリットに加え、ご協賛頂けますと、以下も追加となります。
あわせてご協賛いただきますようお願いいたします。

マンス協賛A 30万円

ご協賛メリット

定)

◎当日パンフレットへの広告枠提供（サイズ未

◎公式ウェブサイトでの詳細告知

◎コアフェスティバル会場（象の鼻テラス）での

ポスター掲出

マンス協賛B 10万円

ご協賛メリット

イズ未定)

◎当日パンフレットへの広告枠提供（サ

ヨコハマ・イルミネーション・マンス及び
スマートイルミネーション横浜についてのお問い合わせは以下にお願いいたします。

**スマートイルミネーション横浜実行委員会
事務局（担当：森・石井）**

TEL : 045-633-9660
FAX : 045-662-0082
MAIL : sij@ludens.be

※電話受付時間：平日10:00～18:00

<http://www.smart-illumination.jp/>